

中部地域包括支援センターだより

▶ 平成 29 年度、新たに仲間入りした職員のご紹介をします！！

今年度もどうぞよろしくお願い致します！！



4月1日の人事異動で中部包括支援センターに配属されました、**廣田祥基**と申します。今までは、約 9 年間、社会福祉協議会の企画総務課で法人会計や共同募金、生活福祉資金貸付事業の担当をしていましたので、だいたい事務所の中で業務をしていましたが、地域に出ていく業務へと状況が変わり、まだ戸惑いを感じています。少しでも早く業務を理解し、地域の皆さまのお力になれるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

今春より中部包括支援センターに介護支援専門員として従事することになりました、**鏡美保**と申します。前職は歯科衛生士です。義両親の介護に直面したことがきっかけでヘルパー2級を取得、介護福祉士を取得し現在に至っております。社会福祉協議会では、多くの専門職の方々が連携しながら懸命に、そして、真摯に仕事に従事されていることを知り、これから、包括支援センターのチームの一員として仕事に従事し、活動できることを嬉しく思っております。

福祉についての知識はありませんが、学ぶ気持ちを忘れず、心を入れて仕事に取り組みたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



今年度もよろしくお願い致しますっ！

中部地域包括支援センター

管理者：中西 淳一
(兼 主任介護支援専門員)

看護師：長谷川 友子

介護支援専門員：舘 智子

介護支援専門員：矢納 康美

介護支援専門員：安藤 恵美

介護支援専門員：鏡 美保

社会福祉士：廣田 祥基

社会福祉士：楠本 眞友子

事務員：舘 貴子

認知症初期集中支援チーム

看護師：佐伯 由佳子

社会福祉士：岩崎 裕美

鈴鹿の福祉人

塚本 敏隆 さん

25 年前に両目の視力を失うも、現在は点字で本を読んだり、卓球をしたり、市内の小学校で講演をしたり…と、毎日とてもお元気に笑顔で活動をされています！！



「白い杖一本で歩きたい」

私は平成 4 年(55 歳)に緑内障で失明をしました。全く光のない、真っ暗な世界になったのです。一歩外へ出て方向を確認しようと思っても、全く東西南北がわかりません。玄関へ戻ることも出来ず、通りがかりの人に玄関まで連れて行ってもらいました。その時に「白い杖一本で歩きたい！」という気持ちになり、私は視覚障害者支援センター(本部)に電話をし、歩行訓練をお願いしました。当時、三重県内では歩行訓練士がいませんでした。しかし、平成 10 年(60 歳)に三重県内初の歩行訓練士との出会いがあり、歩行訓練を始めました。歩行訓練はまず、広場に立たされ、「杖を持ちながらまっすぐ歩きなさい」と言われます。しかし、なかなか脚が出ません。前方に壁があり、ぶつかりそうな恐怖感があったからです。その時、“自分で自分の足を動かそうとしない限り、前には進まない”と思い、「やる気・勇気・努力」の3つを常に心に刻んで訓練に取り組むようになりました。

現在は小学生の総合学習で、講話をしており、昨年度は鈴鹿市内 10 校からの依頼を受けました。生きていくための「強さ」「たくましさ」を一人でも多くの子どもたちに伝えたいという思いで話をしています。私は日常生活すべて一人ですることができ、趣味はカラオケ・グラウンドゴルフ・SSピンポンです。すべてのモノに対して、手・耳・鼻・足・頬などの身体全体を使って感じています。目が見えなくなってから、前へ進むには「やる気・勇気・努力」が必要でした。見えない生活が、何でもできるよう努力をさせてくれたのです。先日 4 月 17 日に 80 歳の誕生日を迎えました。努力することの大切さ、困難を乗り越える勇気をこれからも子どもたちに伝え続けていきたいです。また、作詞作曲をした「すごろく体操」を鈴鹿市内にもっともっと広げていきたいです！！


すごろく音頭

作詞作曲 つかもと としたか

一 いつも元気で すごろく音頭
ここは ○○町
老いも若きも踊れや踊れ
踊りや健康 いきいきと
※えんやさのさささ えんやさのさささ
踊りや健康 いきいきと

二 そろそろたよ 元気な顔が
ここは ○○町
みんな輪になり踊れや踊れ
踊りや健康 いきいきと
※ 繰り返し

すてきな
ごらくで
ろうかを防ぎ
くらし活き活きと



塚本さんが作詞・作曲をされた渾身の一曲！！この歌に合わせた体操『すごろく体操』がありますので興味のある方は中部包括へ♪♪